

原発攻撃立地3割不安

自治体調査 国対策強化求め

原発が武力攻撃に遭ったロシアのウランライナ原発から1年に当り、原発が立地する13道県22市町村に共同調査が14日までにアンケートした結果、約3割の自治体が国内の原発が攻撃される可能性に「不安を感じる」と回答した。約7割の自治体は防衛や外交の課題だとして明確な回答は避けたが、自由記述では国に安全対策の強化を求める声なども多く、危機感の高まりがうかがえる。

【4道県調査結果】

「不安」と答えたのは、
東北電力女川原発がある宮城県石巻市や、東京電力柏崎刈羽原発がある新潟県柏

切れない」（静岡県御前崎
市）など。

残りの13道県11市町村は
「不安を感じる」「不安は
感じない」とした。福井県は
調査に、「外交上、防衛
上の観点で国が検討すべき
課題」などと自由記述での
回答が多かった。

自由記述では「防衛対策 について再検証し、自衛隊 などの拡充強化を国に求め る」（石川県志賀町）、「新 規制基準は武力攻撃への対 応を求めている。国には 防衛対策を求めたい」（伊 方町）、「原発の備蓄面 の安全対策でなく、ミサイ ル攻撃などからいかに原発

を守るか、国防の観点で議
論し、対策を講じる必要が
ある」（佐賀県玄海町）な
どの意見が記された。
北朝鮮の発射実験を念頭
に懸念が高まったと考える
自治体も複数あった。
現状の安全対策に関して
は、鹿児島県を7市町村が不
十分だと思う」と回答。ま
た「物理的な攻撃だけでなくサイバー攻撃にも対応しなければならぬ」（相模原市）との指摘もあった。アンケートは1～2月、廃炉作業中や建設中を含め、原発がある13道県22市町村を対象に過渡式と自由記述で回答を得た。3月13日時点で集計した。

「有事、標的恐れ」 不安の嶺南市町

福井県と原発が立地する
嶺南4市町村へのアンケート
では、美浜と高浜の2町が
原発への武力攻撃に「不安
を感じる」と回答した。武
力攻撃に対する原発の安全
対策については、美浜、お

おいの2町が「不十分」と
の認識を示した。
不安の理由は、美浜町が
「近隣国のかつてない規模
でのミサイル発射もあり、
有事の際に標的になる恐れ
と不安を感じる」と回答

答。高浜町は「日本のミサ
イル防衛体制について熟知
していない」とした。
安全対策については「原
発や事業者が武力攻撃を防
ぐ堅牢性や態勢を維持する
は現実的でない」（おおい

町）、「具体的な部隊配備
や防空体制など明確に示さ
れていない」（美浜町）と
回答。一方、高浜町は「ミ
サイルが核弾頭を搭載して
いけばどんな対策も意味が
ない」とした。
武力攻撃に備えた独自の
取り組みを問う質問では、
美浜、美浜、おおいの3市
町が「取り組んでいない」
と回答。数箇所は「国とし
て万全の措置を講じてほし
い」と求めた。

県は、原発防護は国が責
任を持って取り組むべきだ
と指摘。「武力攻撃に対す
る防衛や嶺南地域への自衛
隊配備、国民保護法など關
係法令の検証を求めている」とした。（佐藤隆郎）